

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年5月14日

【四半期会計期間】 第72期第2四半期(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

【会社名】 粧美堂株式会社
(旧会社名 SHO - B I 株式会社)

【英訳名】 SHOBIDO Corporation
(旧英訳名 SHO-BI Corporation)
(注) 2019年12月20日開催の第71期定時株主総会の決議により、2020年1月1日から会社名及び英訳名を上記のとおり変更いたしました。

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 寺田正秀

【本店の所在の場所】 東京都港区港南二丁目15番1号

【電話番号】 03 - 3472 - 7890

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部長兼総務人事部長兼経理部長 斉藤政基

【最寄りの連絡場所】 大阪市北区西天満六丁目4番18号

【電話番号】 06 - 6365 - 7001

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部長兼総務人事部長兼経理部長 斉藤政基

【縦覧に供する場所】 粧美堂株式会社 大阪本社
(大阪市北区西天満六丁目4番18号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第71期 第2四半期 連結累計期間	第72期 第2四半期 連結累計期間	第71期
会計期間	自 2018年10月1日 至 2019年3月31日	自 2019年10月1日 至 2020年3月31日	自 2018年10月1日 至 2019年9月30日
売上高 (千円)	8,772,778	7,593,698	16,785,078
経常利益 (千円)	209,649	185,636	287,428
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	119,996	101,655	174,438
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	72,362	161,561	52,357
純資産額 (千円)	5,264,093	5,325,249	5,230,753
総資産額 (千円)	14,245,081	14,689,416	12,848,799
1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	8.95	7.58	13.01
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	37.0	35.9	40.3
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	110,536	452,887	386,158
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	507,422	708,473	723,747
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,001,903	1,796,445	45,636
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	4,145,241	4,686,336	3,153,652

回次	第71期 第2四半期 連結会計期間	第72期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年3月31日	自 2020年1月1日 至 2020年3月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	4.55	0.27

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間及び本四半期報告書提出日（2020年5月14日）現在において、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」につき、以下の追加すべき事項が生じております。

なお、文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響について

2020年1月以降中国の武漢市に端を発した新型コロナウイルス感染症の拡大により、下請け先の工場稼働、物流などが制限されることでサプライチェーンへの影響があるほか、緊急事態宣言の発出により消費者の外出が制限されていることに加え、小売店舗の営業自粛等により当社商品への需要の減少が発生する事態が生じております。今後の経過によっては、当社グループの事業活動及び業績等に重要な影響を及ぼす可能性があります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間（2019年10月1日～2020年3月31日）におけるわが国経済は、前半までは米中貿易摩擦問題や日韓関係の悪化等外部環境は厳しかったものの、国内景気は緩やかながら回復基調を維持しておりました。しかしながら、10月に実施された消費税率の引き上げにより消費マインドの低迷が続く中、2020年1月以降は中国の武漢市に端を発した新型コロナウイルス感染症の流行により、景気は急速に悪化しました。取引先企業の一部でインバウンド関連の需要が急減したほか、主要な商品供給元である中国での流行拡大により、商品調達面に影響が出ました。更に、国内で感染者が増加したことを受けて政府や自治体から外出の自粛要請がなされるなど経済活動が全般的に停滞し、個人消費に関しても厳しい状況が続きました。

当連結会計年度は「粧美堂（SHOBIDO）の真のメーカー化を目指して事業構造を見直し、ブランド力を強化する」を行動指針として、主力の3事業（ZACCA（雑貨）事業、OEM事業、コスメコンタクト®（注）事業）それぞれの収益力強化を図ることに加えて、主要商品のブランディングに注力しております。海外市場については、引き続きコスメコンタクト®を中心に売上拡大に向けた施策を進めております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、商品、取引先別に採算性を見直しを継続したことに加え、新型コロナウイルス感染症の流行による消費停滞の結果、対前年同期比13.4%減の7,593,698千円と大幅な減収となりました。生産コストの削減、取引条件の見直し等に取り組んだことで、差引売上総利益率は29.2%と前年同期比0.2ポイント改善したものの、差引売上総利益額は、2,216,671千円（対前年同期比12.8%減）となりました。販売費及び一般管理費は、全般的に抑制を図り、対前年同期比13.4%減の2,038,548千円となりました。この結果、営業利益は178,122千円（対前年同期比5.1%減）、経常利益は185,636千円（対前年同期比11.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は101,655千円（対前年同期比15.3%減）となりました。

（注）コスメコンタクト®は、瞳を大きく魅力的に見せる、マスカラやアイライナーのようなメイク発想のコンタクトレンズです。

当社グループの事業セグメントは、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおり、単一の事業セグメントであります。取扱い商品を区分した売上高の概況は次のとおりであります。

化粧雑貨

当分類には、メイク関連用品、ヘアケア関連用品、トラベル用品、バス・エステ・健康関連グッズ等の売上が含まれます。当第2四半期連結累計期間の売上高は、注力カテゴリーである化粧品、キッズコスメ等が引き続き好調であったことに加え、新型コロナウイルス感染症の流行により携帯用のボトル需要が増加するなど一部に健闘した商品群があったものの、期初から取扱い商品のアイテム数の絞り込み等を継続していたところに消費全般の急速な落ち込みが加わり、4,547,864千円（対前年同期比7.9%減）となりました。

コンタクトレンズ関連

当分類には、コンタクトレンズ、コンタクトレンズケア用品の売上が含まれます。当第2四半期連結累計期間の売上高は、度ありレンズの売上は比較的堅調であるものの、コンタクトレンズ商品のブランド数及び得意先の選択と集中を継続していること等により、1,487,885千円（対前年同期比8.9%減）となりました。

服飾雑貨

当分類には、バッグ、ポーチ・ケース、サイフ類、その他服飾小物の売上が含まれます。当第2四半期連結累計期間の売上高は、キャラクター商品を中心に企画数の絞り込み等を行ったことや一部取引先でのインバウンド需要の減少の影響を受け、980,501千円（対前年同期比24.9%減）となりました。

その他

当分類には、生活雑貨、文具、行楽用品、ギフト商品等の売上が含まれます。当第2四半期連結累計期間の売上高は、ギフト商品の企画数を減らしたことに加えて、急激な消費の低下により文具、行楽用品等の季節商材が不振だったことから、577,447千円（対前年同期比35.4%減）となりました。

(2) 財政状態の状況

資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,840,617千円増加し、14,689,416千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて711,239千円増加し、10,894,123千円となりました。

これは主に、現金及び預金が1,034,424千円、為替予約が91,446千円増加したことに対し、受取手形及び売掛金が347,111千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,129,377千円増加し、3,795,293千円となりました。

これは主に、有形固定資産が1,196,126千円増加したことに対し、投資その他の資産のその他が81,872千円減少したこと等によるものであります。

負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,746,120千円増加し、9,364,166千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて76,460千円増加し、4,390,253千円となりました。

これは主に、1年内返済予定の長期借入金が299,400千円増加したことに対し、支払手形及び買掛金が53,081千円、未払法人税等が61,811千円、賞与引当金が50,349千円、その他が51,097千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,669,660千円増加し、4,973,913千円となりました。

これは主に、長期借入金が1,564,000千円、その他が117,106千円増加したこと等によるものであります。

純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて94,496千円増加し、5,325,249千円となりました。

これは主に、利益剰余金が34,606千円、繰延ヘッジ損益が62,506千円増加したこと等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、期首残高に比べて1,532,683千円増加し、4,686,336千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は、452,887千円（対前年同期比309.7%増）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益185,666千円計上するとともに、売上債権の減少343,076千円、たな卸資産の減少77,453千円があったこと、賞与引当金の減少 50,349千円、法人税等の支払額 93,515千円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は、708,473千円（対前年同期比39.6%増）となりました。

これは主に、定期預金の純減少額498,259千円があったこと、有形固定資産の取得による支出 1,215,348千円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、獲得した資金は、1,796,445千円（対前年同期比79.3%増）となりました。

これは主に、長期借入れによる収入2,800,000千円があったこと、長期借入金の返済による支出 936,600千円があったこと等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

記載すべき重要な事項はありません。

(6) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった重要な設備の取得について、当第2四半期連結累計期間に完了したものは次のとおりであります。

会社名	事業所名 (所在地)	事業部門	設備の内容、 規模、面積	投資総額 (千円)	資金調達方法	取得年月
提出会社	箕面倉庫（仮称） （大阪府箕面市）	営業部門 管理部門	土地 2,137.12㎡ 建物 12,337.10㎡	1,223,682	自己資金	2020年2月

(注) 投資総額に消費税等は含まれておりません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,640,000
計	48,640,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年3月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年5月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	13,410,000	13,410,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	13,410,000	13,410,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年1月1日～ 2020年3月31日		13,410,000		545,500		264,313

(5) 【大株主の状況】

2020年3月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
TCS株式会社	大阪市中央区玉造1丁目1番25号	3,725	27.78
寺田 一郎	兵庫県芦屋市	2,140	15.96
寺田 正秀	東京都港区	1,386	10.34
寺田 久子	兵庫県芦屋市	397	2.96
平賀 優子	東京都港区	300	2.24
粧美堂従業員持株会	大阪市北区西天満6丁目4番18号	290	2.17
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	274	2.05
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区大手町1丁目5番5号	200	1.49
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	155	1.16
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口5)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	132	0.99
計		9,002	67.14

- (注) 1. 上記のうち、日本マスタートラスト信託銀行株式会社、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有する株式数は、すべて信託業務に係るものであります。
 2. 発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,406,900	134,069	単元株式数 100株
単元未満株式	普通株式 3,000		
発行済株式総数	13,410,000		
総株主の議決権		134,069	

- (注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式77株が含まれております。

【自己株式等】

2020年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合(%)
(自己保有株式) 粧美堂株式会社	東京都港区港南二丁目 15番1号	100		100	0.00
計		100		100	0.00

2 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年10月1日から2020年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,253,652	6,288,076
受取手形及び売掛金	2,914,761	2,567,649
商品	1,497,977	1,423,620
貯蔵品	93,697	93,012
為替予約	183,239	274,685
その他	242,053	249,575
貸倒引当金	2,496	2,496
流動資産合計	10,182,883	10,894,123
固定資産		
有形固定資産	1,724,039	2,920,165
無形固定資産	60,146	55,036
投資その他の資産		
投資有価証券	301,157	321,804
その他	581,084	499,211
貸倒引当金	512	925
投資その他の資産合計	881,729	820,090
固定資産合計	2,665,915	3,795,293
資産合計	12,848,799	14,689,416
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,031,564	1,978,483
1年内返済予定の長期借入金	1,556,604	1,856,004
未払法人税等	105,203	43,392
賞与引当金	155,800	105,451
返品調整引当金	41,400	34,800
その他	423,219	372,122
流動負債合計	4,313,792	4,390,253
固定負債		
長期借入金	3,149,500	4,713,500
役員退職慰労引当金	99,549	87,950
資産除去債務	32,207	32,361
その他	22,996	140,102
固定負債合計	3,304,253	4,973,913
負債合計	7,618,046	9,364,166

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,500	545,500
資本剰余金	264,313	264,313
利益剰余金	4,168,572	4,203,178
自己株式	71	87
株主資本合計	4,978,314	5,012,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,970	48,282
繰延ヘッジ損益	124,175	186,681
為替換算調整勘定	28,584	27,270
その他の包括利益累計額合計	199,730	262,234
非支配株主持分	52,708	50,110
純資産合計	5,230,753	5,325,249
負債純資産合計	12,848,799	14,689,416

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
売上高	8,772,778	7,593,698
売上原価	6,229,417	5,383,627
売上総利益	2,543,361	2,210,071
返品調整引当金戻入額	41,900	41,400
返品調整引当金繰入額	44,500	34,800
差引売上総利益	2,540,761	2,216,671
販売費及び一般管理費	2,353,159	2,038,548
営業利益	187,601	178,122
営業外収益		
受取利息	2,329	3,880
受取配当金	4,808	2,584
受取手数料	5,741	5,345
不動産賃貸収入	2,584	18,137
為替差益	17,614	3,560
その他	1,898	1,218
営業外収益合計	34,976	34,725
営業外費用		
支払利息	12,246	10,695
不動産賃貸費用	466	16,348
その他	215	166
営業外費用合計	12,928	27,211
経常利益	209,649	185,636
特別利益		
投資有価証券売却益	14,631	30
特別利益合計	14,631	30
税金等調整前四半期純利益	224,281	185,666
法人税、住民税及び事業税	93,762	35,234
法人税等調整額	10,523	51,338
法人税等合計	104,285	86,573
四半期純利益	119,996	99,093
非支配株主に帰属する四半期純損失()	-	2,561
親会社株主に帰属する四半期純利益	119,996	101,655

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
四半期純利益	119,996	99,093
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,675	1,312
繰延ヘッジ損益	777	62,506
為替換算調整勘定	7,181	1,350
その他の包括利益合計	47,634	62,467
四半期包括利益	72,362	161,561
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	72,362	164,160
非支配株主に係る四半期包括利益	-	2,598

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	224,281	185,666
減価償却費	51,890	59,052
貸倒引当金の増減額(は減少)	4,537	413
返品調整引当金の増減額(は減少)	2,600	6,600
賞与引当金の増減額(は減少)	42,000	50,349
退職給付に係る資産の増減額(は増加)	10,635	548
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5,850	11,599
受取利息及び受取配当金	7,138	6,464
支払利息	12,246	10,695
為替差損益(は益)	343	1,093
投資有価証券売却損益(は益)	14,631	30
売上債権の増減額(は増加)	226,082	343,076
たな卸資産の増減額(は増加)	284,395	77,453
仕入債務の増減額(は減少)	437,163	28,773
その他	5,004	28,604
小計	139,949	545,578
利息及び配当金の受取額	5,899	10,509
利息の支払額	12,780	9,685
法人税等の還付額	1,602	0
法人税等の支払額	24,133	93,515
営業活動によるキャッシュ・フロー	110,536	452,887
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(は増加)	500,000	498,259
有形固定資産の取得による支出	23,207	1,215,348
無形固定資産の取得による支出	12,351	12,917
投資有価証券の取得による支出	4,458	15,300
投資有価証券の売却による収入	27,078	127
その他	5,516	36,705
投資活動によるキャッシュ・フロー	507,422	708,473
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,100,000	2,800,000
長期借入金の返済による支出	1,031,000	936,600
配当金の支払額	67,096	66,938
その他	-	15
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,001,903	1,796,445
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,049	8,175
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	601,968	1,532,683
現金及び現金同等物の期首残高	3,543,273	3,153,652
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,145,241	4,686,336

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当座貸越契約

当社グループは、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行5行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当第2四半期連結会計期間末の借入未実行残高は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
当座貸越極度額の総額	3,121,550千円	3,121,910千円
借入実行残高	千円	千円
差引額	3,121,550千円	3,121,910千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
広告宣伝費	139,551千円	90,059千円
販売促進費	325,752千円	257,625千円
物流費	402,816千円	353,945千円
給料手当及び賞与	654,498千円	576,946千円
賞与引当金繰入額	110,000千円	105,451千円
退職給付費用	19,587千円	17,194千円
役員退職慰労引当金繰入額	5,850千円	5,900千円
貸倒引当金繰入額	3,837千円	413千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
現金及び預金	6,045,241千円	6,288,076千円
預入期間が3か月を超える定期預金	1,900,000千円	1,601,740千円
現金及び現金同等物	4,145,241千円	4,686,336千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年11月15日 取締役会	普通株式	67,049	5.00	2018年9月30日	2018年12月7日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月17日 取締役会	普通株式	67,049	5.00	2019年3月31日	2019年6月7日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年11月15日 取締役会	普通株式	67,049	5.00	2019年9月30日	2019年12月6日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月19日 取締役会(予定)	普通株式	67,049	5.00	2020年3月31日	2020年6月5日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自
2019年10月1日 至 2020年3月31日)

当社グループは、化粧雑貨、服飾雑貨、キャラクター雑貨及びコンタクトレンズ関連等の商品を幅広く取扱っており、これらの商品の調達方法及び販売方法等については同一であることから単一の事業セグメントとしているため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり四半期純利益	8.95円	7.58円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	119,996	101,655
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	119,996	101,655
普通株式の期中平均株式数(株)	13,409,873	13,409,866

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年5月14日

粧美堂株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	増	田	豊	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	林	—	樹	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている粧美堂株式会社の2019年10月1日から2020年9月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年10月1日から2020年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、粧美堂株式会社及び連結子会社の2020年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。